



## はじめに

このガイドでは、Cisco Context Directory Agent (CDA) アプリケーション、ハイレベルアーキテクチャの概要と Cisco CDA アプリケーションの使用方法について説明します。また、Cisco CDA との正常な接続を可能にするための Active Directory の要件を含む Cisco CDA アプリケーションをインストールする方法について説明します。

Cisco CDA は、システム コンフィグレーションと専用オペレーション システム用のユーザ インターフェイスが追加された AD Agent 1.0 と同じ機能を提供します。Cisco CDA と ASA、WSA、および DC との間のフローおよびセマンティクスは AD Agent 1.0 のときと同じままです。ただし、基礎となる実装は変更され、Cisco Identity Services Engine (ISE) テクノロジーに従っています。

ここでは、次の内容について説明します。

- [対象読者](#)
- [マニュアルの編成](#)
- [表記法](#)
- [マニュアルの更新](#)
- [関連資料](#)
- [その他の関連マニュアル](#)
- [マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)

## スコープ

このガイドは、Cisco CDA 1.0、パッチ 1 がインストールされている場合にのみ適用可能です。

Cisco CAD 1.0、パッチ 1 には新機能が含まれているので、パッチ 1 のインストールを推奨します。パッチ 1 をインストールしていない場合、このユーザ ガイドで説明する次の機能面は適用されません。

- Windows 2012 のサポート
- NTLMv2 のサポート：「[CDA と AD NTLM のバージョン設定に基づいてサポートされる認証タイプ](#)」、[表 2-4](#) を参照してください。
- Active Directory ユーザがドメイン管理者グループのメンバーではない場合に必要な権限の設定：「[Active Directory ユーザが Domain Admin グループのメンバーである場合に必要な権限](#)」(P.7) および「[Active Directory ユーザが Domain Admin グループのメンバーでない場合に必要な権限](#)」(P.7) を参照してください。

## 対象読者

このマニュアルは、導入時に Cisco Context Directory Agent を使用するネットワーク管理者を対象としています。このマニュアルでは、読者がネットワーキングの原理と応用についての実用的な知識を持ち、ネットワーク システム管理者としての経験があることを前提としています。

## マニュアルの編成

このマニュアルの内容は、概要、機能別作業、およびリファレンス カテゴリにグループ分けされ、次のように分類されています。

章	説明
第 1 章「Context Directory Agent の概要」	Cisco Context Directory Agent の概要を説明します。
第 2 章「Cisco Context Directory Agent のインストール」	Cisco Context Directory Agent ソフトウェアをインストールする方法、Cisco AD Agent から Cisco CDA に移行する方法について詳細に説明します。
第 3 章「Context Directory Agent の操作」	Cisco Context Directory Agent の操作方法と使用方法の手順を段階的に説明します。
第 4 章「Cisco CDA コマンド リファレンス」	Cisco Context Directory Agent で使用可能な CLI コマンドのリストを示し、その使用法を説明します。

## 表記法

このマニュアルで使用する表記法では、^ 記号は *Ctrl* キーを表します。たとえば、*^z* というキーの組み合わせは、「Ctrl キーを押しながら z キーを押す」ことを意味します。

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

- システム プロンプトが含まれる例はインタラクティブなセッションを示し、プロンプトでコマンドを入力する必要があります。システム プロンプトは、現在の EXEC コマンド インタープリタのレベルを示しています。たとえば、プロンプト Router> はユーザレベル、プロンプト Router# は特権レベルであることを表しています。通常、特権レベルにアクセスするにはパスワードが必要です。
- コマンドおよびキーワードは、**太字**で示しています。
- ユーザが値を指定する引数は、*イタリック体*で示しています。
- 角カッコ ([ ]) 中の要素は、省略可能です。
- 必ずいずれか 1 つを選択しなければならないキーワードは、波カッコ ({} ) で囲み、縦棒 (|) で区切って示しています。

例を挙げて説明する場合は、次の表記法を使用しています。

- 端末セッションおよびコンソール画面例は、screen フォントで示しています。
- ユーザが入力する情報は、**太字の screen** フォントで示しています。
- パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。
- システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコ ([]) で囲んで示しています。
- 行の先頭に感嘆符 (!) がある場合には、コメント行であることを示します。

**注意**

「**要注意**」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

**ワンポイントアドバイス**

「**時間節約**」の意味です。ここに紹介している方法で作業を行うと、時間を短縮できます。

**(注)**

「**注釈**」です。次に進む前に検討する必要がある重要情報、役に立つ情報、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

## マニュアルの更新

次の表は、このマニュアルの作成および更新の履歴を示しています。

**表 1 Cisco Context Directory Agent, Release 1.0 インストール/コンフィギュレーション ガイドに対する更新**

日付	説明
2013 年 2 月	次の各項を更新しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「<a href="#">スコープ</a>」(P.ix)</li> <li>「<a href="#">Active Directory ドメインコントローラ マシン</a>」(P.3)</li> <li>「<a href="#">サポートされる Active Directory バージョン</a>」(P.2)</li> <li>「<a href="#">Cisco CDA との正常な接続のための Active Directory の要件</a>」(P.4)</li> <li>「<a href="#">Active Directory サーバの追加と編集</a>」(P.7)</li> <li>「<a href="#">Active Directory の基本設定</a>」(P.9)</li> </ul>
2012 年 6 月	Cisco Context Directory Agent リリース 1.0

## 関連資料

**(注)**

元のドキュメントの発行後に、電子ドキュメントを更新することがあります。マニュアルのアップデートについては、[Cisco.com](http://Cisco.com) で確認してください。

## このリリースのマニュアル

表 2 は、Cisco Context Directory Agent リリース 1.0、パッチ 1 で利用可能な製品マニュアルを示しています。

表 2 Cisco Context Directory Agent 1.0、パッチ 1 の製品マニュアル

ドキュメント名	ロケーション
『 <i>Installation and Configuration Guide for Cisco Context Directory Agent, Release 1.0</i> 』	<a href="http://www.cisco.com/en/US/docs/security/ibf/cda_10/Install_Config_guide/cda10.html">http://www.cisco.com/en/US/docs/security/ibf/cda_10/Install_Config_guide/cda10.html</a>
『 <i>Release Notes for Context Directory Agent, Release 1.0</i> 』	<a href="http://www.cisco.com/en/US/docs/security/ibf/cda_10/release_notes/cda10_rn.html">http://www.cisco.com/en/US/docs/security/ibf/cda_10/release_notes/cda10_rn.html</a>
『 <i>Open Source Licenses used in Context Directory Agent, Release 1.0</i> 』	<a href="http://www.cisco.com/en/US/docs/security/ibf/cda_10/open_source_doc/open_source.pdf">http://www.cisco.com/en/US/docs/security/ibf/cda_10/open_source_doc/open_source.pdf</a>

## その他の関連マニュアル

適応型セキュリティ アプライアンス (ASA) 5500 シリーズのマニュアルと Cisco IronPort Web セキュリティ アプライアンス (WSA) のマニュアルへのリンクは、Cisco.com の以下の場所に記載されています。

- Cisco ASA 5500 シリーズ適応型セキュリティ アプライアンスのページ  
[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6120/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6120/tsd_products_support_series_home.html)
- Cisco IronPort Web セキュリティ アプライアンスのページ  
[http://www.cisco.com/en/US/products/ps10164/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps10164/tsd_products_support_series_home.html)

## 通告

Cisco Context Directory リリース 1.0 で使用されているすべてのオープン ソース ライセンスについては、[http://www.cisco.com/en/US/docs/security/ibf/cda\\_10/open\\_source\\_doc/open\\_source.pdf](http://www.cisco.com/en/US/docs/security/ibf/cda_10/open_source_doc/open_source.pdf) を参照してください。

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。